

新興国編

ドバイ・ロシア・タイ・マカオ……etc.

「早いもん勝ち」で デツカク 増やす!

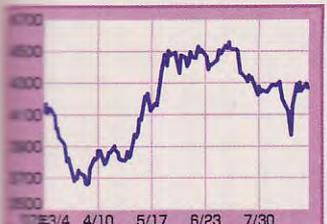
世界経済へのバランス投資が「豪華客船での世界一周」なら、新興国投資は「ゴムボートでのジャングル冒険」。機動力を生かして、時に誰よりも早く大きな宝物を独り占めすることも可能だ！ここからはドバイ、ロシア、マカオなど、ほかのマネー誌では見られない最速情報を掲載！

ドバイ 急成長中でも、今なら欧米の機関投資家を出し抜けるフロンティア!

「8月上旬までにドバイのマツクシヤラフ証券に口座を開設した日本人は350人を超えたそうです。たった2か月でこれだけ増えるのはすごいですね」と話すのは、6月に小誌並びに「ドバイ株投資完全マニュアル」(発行/パンローリング)で、日本一早いドバイ投資情報を発信した冒険投資家・石田和靖氏。

「新興国投資で成功するポイントのひとつは『誰よりも早く動くこと』だから、今始めている人は期待できると思うし、現地の人によると10月のラマダン前が買い時らしいので、まだ間に合います!」

欧州、米国の機関投資家が今秋以降に続々参入!?
では早速、8月に4度目のドバイ訪問をはたした石田氏に、最新のドバイ株情報を聞いてみよう。



ドバイ株式市場の推移
世界同時株安の影響もあるが「まだ西側の資金が入っていないので、わずかです」(石田氏)

「中東のファンド運用会社・シユアキャピタルによると、ドバイ証券取引所の親会社DIFC(ドバイインターナショナルフィナンシャルセンター)が今春、欧州の機関投資家向けに「ロードショー」と言われる投資説明会を開催済みで、今秋には米国、来年には東京で実施する予定。シユアキャピタルもDIFCと近い時期に米国、日本、中国で説明会を開くそうです」

つまり、日本はもろろん、欧米の大手機関投資家も、まだドバイには本格的に参入していないのだ。「香港の銀行に勤める友人に聞くと、中東地域のファンドを購入できるのは富裕層の中でもハイクラスの投資家だけだそうです」

日本でBRICSファンドが購入できるようにしたのは、すでにブームが大きくなって、大手の機関投資家が参入を済ませたあとだった。しかし、ドバイなら欧米の機関投資家を出し抜けるかも! 「ドバイの金融関係者はドバイだけじゃなくて、GCC6か国(湾岸協力会議のUAE、サウジアラビアなど6か国)の市場に関して、『すごいことになる!』と自信满满ですよ。政府が各方面で開放を進めていて、西側の資金が入っ

てくるのはこれからだ!」
GCC6か国が計画している経済&通貨の統合やドバイ首長のシエイク・モハメドが15年までGDP成長率11%以上を達成すると発表した「ドバイストラテジックプラン2015」が実現すれば、確かにすごいことになりそうだが、その進捗状況はどうなのだろうか? 「世界の建設用クレインの3割が集結していると言われる不動産開発の状況ですが、5月には入れなかったヤシの木形に埋め立てたりゾト地・バーム・ジュメイラ



石田和靖氏



石田さんのドバイ&アブダビの注目銘柄



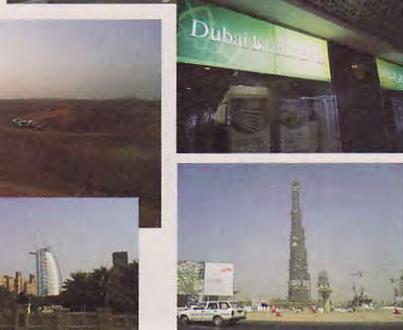
エアアラビア

ドバイに上場している、中東地域で勢力拡大中の格安航空会社。「現地の証券会社によると、成長が見込めてすごく割安、とのこと」(石田氏)



ファーストガルフバンク

アブダビに上場している銀行。「ミドルサイズで、メガバンクよりも高い成長が見込めるうえ、財務もいいのに割安だそうです」(石田氏)



「金融、病院など、現在募集が始まっている経済特区は大人気で、すでに満室で入居待ちだそうです。ほかにもハリウッドを目指した映画製作特区や日本の中小企業特区まで、いろんな経済特区が予定されています。ドバイの場合、経済特区の周辺に住宅や病院、学校など、街を丸ごとつくって働きやす

に今回は入れました。広い道路に高層マンションが立ち並び、かなり形が見えてきましたね。世界一高いビル「ブルジュ・ドバイ」もかなり高くなってきた。建設作業員が地上に降りるのに時間がかかるので、高層階に住んで作業を進めているそうです」

現在、ドバイにある世界最大の屋内スキー場の5倍の新施設や、世界最大のショッピングモールなど、まだまだ建設ラッシュは続く。さらに目玉の経済特区開発計画も進んでいる。

石田氏の次の獲物は眠れる巨人・サウジ!

「現地の新聞は経済統合の話ばかり。ドバイの金融関係者の間では、5年遅れる」という意見が多いですね。でも、新興国投資ではこの程度のリスクは当たり前。たとえ統合が実現しなくてもドバイは成長すると思いますし」

「すべては、中東のスリーピングジャイアント、サウジアラビア次第。現在は外国人に入国や投資を開放していませんが、彼らがWTOに加盟したのは開放する意思表示のはず。僕は来年にはサウジの株式市場は開放されると思っています。5月の訪問でサウジの大企業の会長と知り合えて、10月に入国できることになったので、そのあたりも聞いてきます。サウジの株式市場が開放されたら……きつとすごいことになりますよ!」

世界征服を目論む冒険投資家・石田和靖氏の冒険は続く!

ドバイ株はここで買う! 郵送で口座開設可能!



石田氏の著書『ドバイ株投資完全マニュアル』で紹介されているのが、郵送で口座開設が可能なドバイの証券会社・マクシヤラフ証券 (http://www.mac-sharaf.com/) だ。上記サイトで必要書類をダウンロード。『ドバイ株投資完全マニュアル』に掲載されている記入見本を参照しながら書類をつくり、パスポートのコピーなどと一緒を送付するだけで口座開設ができる。しかも、日本人が急増しているため、現在は日本語の口座開設書類があるのでラクチン!

サウジアラビアのムハシエル証券ドバイ支店も訪問。この人脈を頼りに10月にサウジアラビアに入国予定!



日本で買えるファンドなら!

日本初! ドバイを含むMENAファンドが早くも登場!

日本初のMENA(ミーン/中東・北アフリカ)地域に特化したファンドが誕生! シュローダー証券投資顧問が設定し、大和証券のインターネット口座だけで購入できる「MENAファンド」が発売中だ。新興国投資に詳しいファイナンシャルプランナーの深野康彦氏も高い関心を寄せている。

「現在、国内で買えるのがこれだけという面はありますが、欧州で実績を出しているシュローダーなら地理的に近い中東にも地の利があるはず。販売手数料3・15%(申込金額1000万円以下の場合)を高く見るかは考え次第ですが、銘柄分析、口座開設、海外送金などに費やす時間や労力を考えれば信託報酬年2・5525%は安い」

中東情勢に関しても「原油価格が堅調なうちはいい」との見解。中東に特化して10万円から買えるファンドは世界的にも稀少。人気が集まりそうです。

シュローダーMENAファンド